

小学校特別支援学級における望ましい言葉遣いを増やし、円滑にコミュニケーションがとれるようにするための支援

児童の実態

A児（知的障がい学級）

- 友達にわざと嫌がることをして注目を集めようとしたり、「ごめん」と言っても謝ることができなかつたりする。
- 譲ることが苦手で、泣いたり怒ったり黙り込んだりする。

家庭での様子

嫌なことがあると、黙りこむか誤魔化して怒るばかりで…
伝わっているのかわからない。



保護者の願い

「返事をしたり謝ったり
できるようにしてほしい」

学校での様子

本当は友達と仲良くしたいのに、
注意を受けるばかりで残念だな



担任の願い

「適切な表現ができるようになってほしい」

「友達と望ましい人間関係を築いてほしい」

第1回学校コンサルテーション(9月)

アドバイザーからの助言

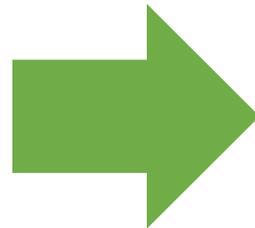
- 場面に応じた言葉遣いや行動について学習し、成功体験を増やすこと
- 望ましい言動に反応してフィードバックすること
- 児童の興味関心を生かした指導・支援をすること



目標

- ①「やめて」と言われたら、「ごめんね」と言ってやめることができる
- ②「ありがとう」「いいよ」等の望ましい言葉遣いを増やし、円滑にコミュニケーションがとれる

繰り返し注意する



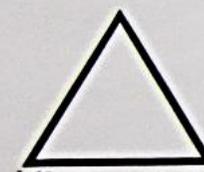
望ましい言動が
増える仕組み



取組内容

- ① ベースラインの測定
- ② ポイントシステムver1の実施
- ③ ポイントシステムver2の実施

①ベースラインの測定

	月 10/24	火 25	水 26	木 27	金 28
 望ましい	正 T 7	正 F 4	正 5	正 F 4	正 5
	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとう×2 ・だいじょうぶ ・ごめんよ @ やさる ・これくらい、いいよ! 	<ul style="list-style-type: none"> ・すみません ・ごめんね ・ありがとう ・いいよ、使う? 	<ul style="list-style-type: none"> ・すみません ・ありがとうごさいます ・ごめんよ、お店です? ・いっしょにしよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・どちらがいい? (選ばせてあげる) ・ありがとう - いっしょにする? ・手伝ってください 	<ul style="list-style-type: none"> ・やさる ・ごめんね ・あざんす → ありがとう ・いいよ - 大丈夫丈夫
 望ましくない	T 2	F 2	F 3	正 F 4	F 3
	<ul style="list-style-type: none"> ・おい! ・ぶらぶらするぞ! ・このやろ? ↑ <p style="text-align: right;">ニコニコして (楽しんで、行動がわかる)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・うそで ・おらー! このやろ。 ・ぶらぶらしてやろ? ↑ <p style="text-align: right;">(楽しんで、行動がわかる)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ぶらぶらする ・ぶらぶらする ・あぁ? 何これ? <p style="text-align: right;">← 反応している この言葉に</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おい! こ、こい! ・たまたま? ・やろ? やろ? <p style="text-align: right;">↑ ニニコして エシカ か? 言う?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ぶらぶら ・ぶらぶらしてやろ? か ・おいー! 何これ?

②ポイントシステムver1

望ましい言葉と望ましくない言葉について児童と話し合い、
よい言葉リストを作り掲示

1ポイント

✿ありがとう

- ・かしてくれる?
- ・がんばれ!
- ・すごいなあ

✿ごめんね

- ・次、使わせてね
- ・だいじょうぶ?
- ・いっしょにしよう。
- ・いっしょにしてもいい?

スペシャルポイント

2ポイントの大シール



- ★「やめて」と言われたら、すぐにやめる。
- ★「やめて」と言われたら「ごめんね」と言って、すぐにやめる。
- ★「どうぞ」と言って、ゆるする。

②ポイントシステムver1

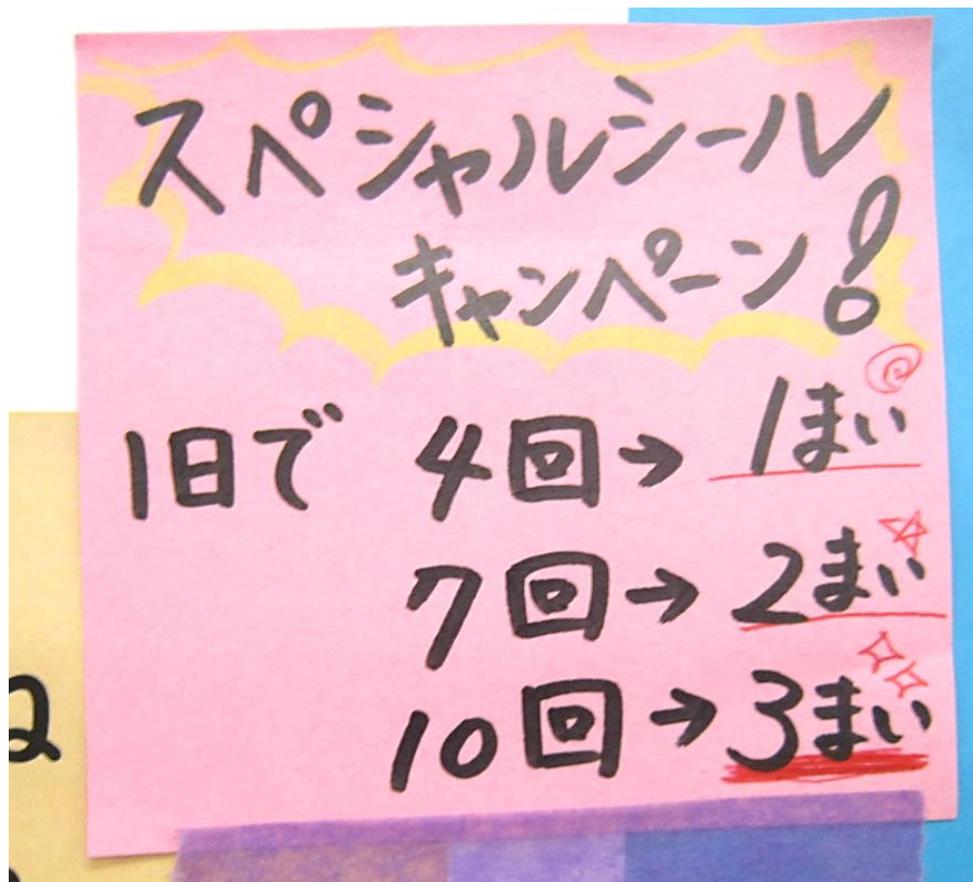
ポイントカードを作り, 望ましい言葉遣いができたときにポイントをためる

(1)「ありがとう」「いいよ」等	1ポイント
(2)「やめて」と言われたら, すぐやめる	2ポイント
(3)「ごめんね」と言ってすぐやめる	2ポイント
(4)「どうぞ」と言って, ゆずる	2ポイント



③ポイントシステムver2

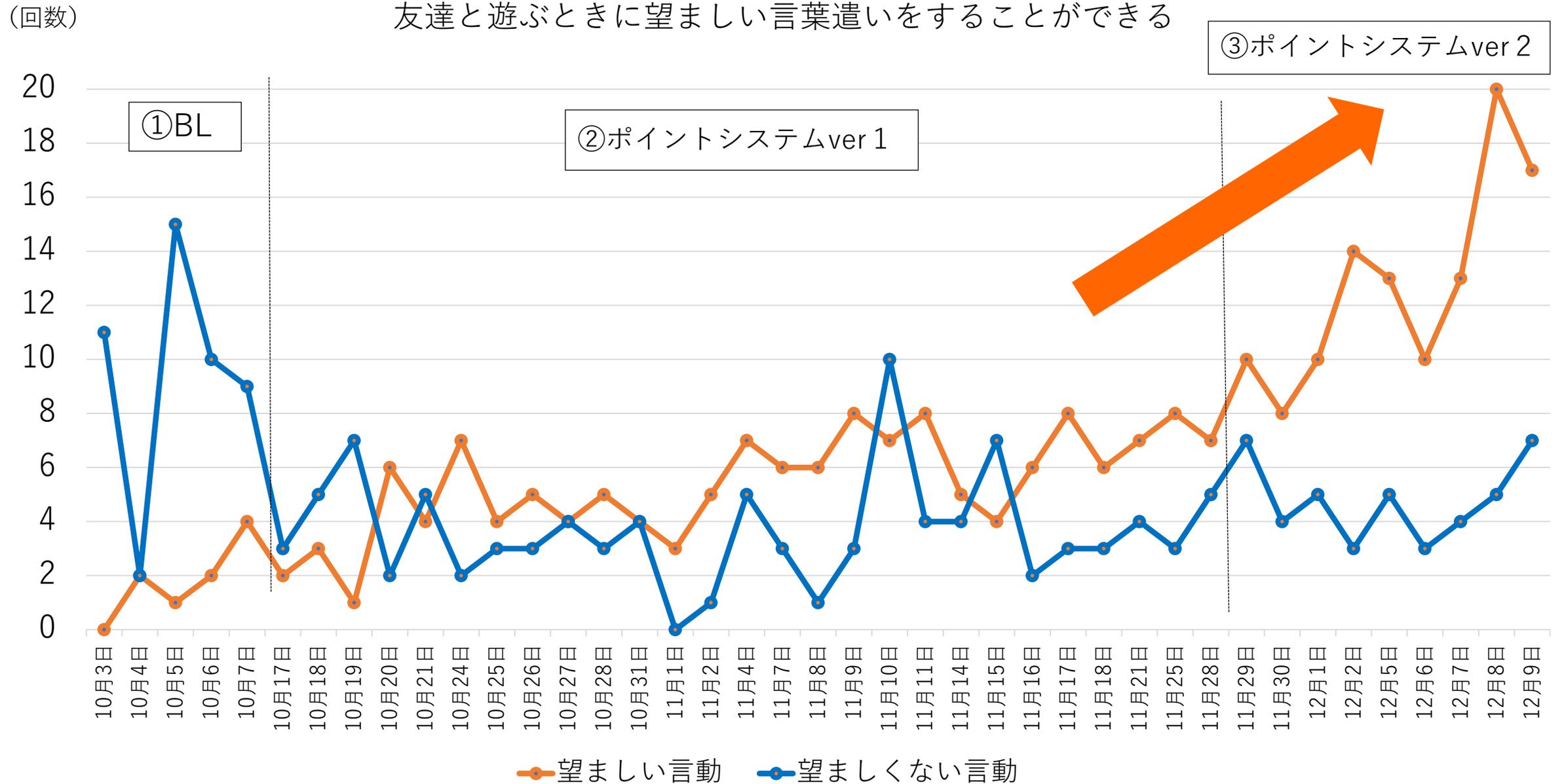
11月下旬から、ポイントシステムバージョン2を実施



◎30ポイントたまったら、
お楽しみ会をしよう!

◎1日の目標を達成したら、
スペシャルシールプレゼント!

結果



第2回学校コンサルテーション(12月)

新たな課題の設定

遊びなどで、テンションが上がったときに望ましくない言葉遣いをしてしまうことが改善されない。



新たな取組内容

①場面の限定

「遊び等でテンションが上がった場面」

②ポイントシステムの実施

③望ましくない言葉遣いが続いているときのハンドサイン

やめてほしい時⇒小さく×のサイン

やめることができた時⇒グッドのサイン

④交流学級での支援

- ・交流学級担任からのポイント
- ・児童同士のよい言葉見つけ



取組のポイントと成果

○ルールを明確にし, 具体的な目標を掲示する

⇒学校や家庭で「ごめんなさい」「ありがとう」が自分から言えるようになってきた。

○多様なポイントシステムによる意欲の継続

⇒成功体験が増え, 楽しみながらスキルを習得できた

○児童と話し合いながら取り組む

⇒自分で言葉遣いを振り返り, 言い直しができるようになってきた。

コンサルをしてよかったこと

○教職員間の情報共有が活発になり、適切な支援が増えた

交流学級の先生に、コンサルの支援方法や児童の成長を伝えることで、適切な支援や褒められる機会が増え、児童の自信につながった。

○アドバイザーの定期的な観察・具体的な助言が、客観的な評価として役立った

